藤光東上ため池ハザードマップ

0　125　250　500 メートル

1:8,000

避難場所と避難経路の確認をしておきましょう

水は高いところから低いところに流れます。道路は流れの強い洪水の通り道にもなります。洪水になったらどう避難するか地形を見て確認しておきましょう。

非常持ち出し品を常備しましょう

いつでも避難できるように持ち出し品を準備しておきましょう。

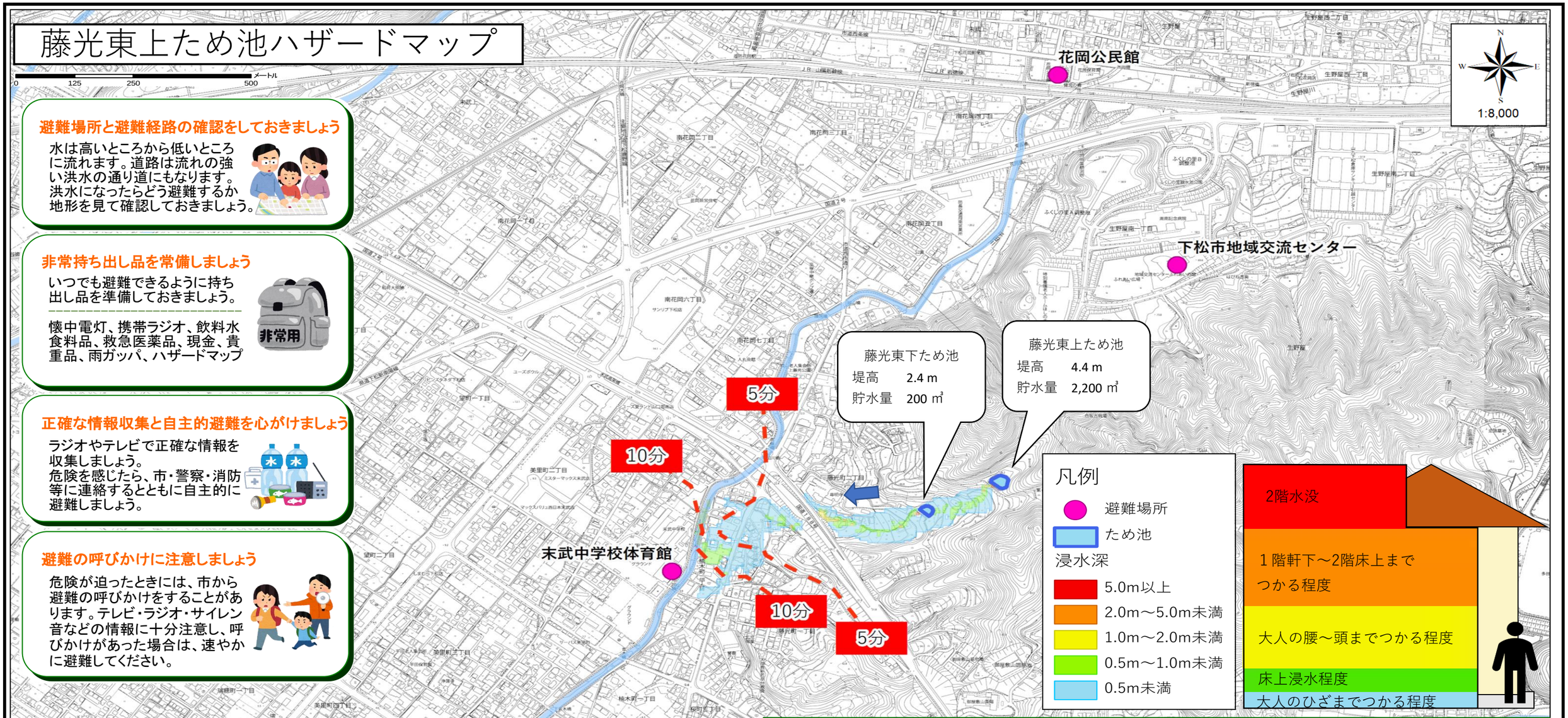
懐中電灯、携帯ラジオ、飲料水
食料品、救急医薬品、現金、貴重品、雨ガッパ、ハザードマップ

正確な情報収集と自主的避難を心がけましょう

ラジオやテレビで正確な情報を収集しましょう。
危険を感じたら、市・警察・消防等に連絡するとともに自主的に避難しましょう。

避難の呼びかけに注意しましょう

危険が迫ったときには、市から避難の呼びかけをすることがあります。テレビ・ラジオ・サイレン音などの情報に十分注意し、呼びかけがあった場合は、速やかに避難してください。



藤光東上ため池が決壊すると、藤光東下ため池に水が流れ込んで同時に決壊する可能性があります。このハザードマップは、２つのため池が決壊した場合の浸水エリアと浸水深を示しています。

さあ避難！　そのときに…

～ 住民の行動 ～

ラジオやテレビで正確な情報を収集。周りの様子にも注意！ → **情報収集**

落ち着いて避難の準備をしましょう。 → **避難準備**

自主的に避難する場合は、下松市役所に連絡してください。 → **避　難**

危険だと感じたら、すぐに連絡してください

連絡・通報先

下松市役所（夜間・土日祝日）	TEL 45－1700
下松市役所農林水産課（日中・平日）	TEL 45－1845
下松警察署	TEL 44－0110
下松市消防本部	TEL 45－0119

避難準備情報
避難勧告・指示が発令される可能性がある場合、前もって避難準備をしていただくための広報です。

避難勧告・避難指示（命令）
降雨量などのデータを総合的に判断して、危険と思われる地域に対して、下松市が発令します。

藤光東上ため池ハザードマップ

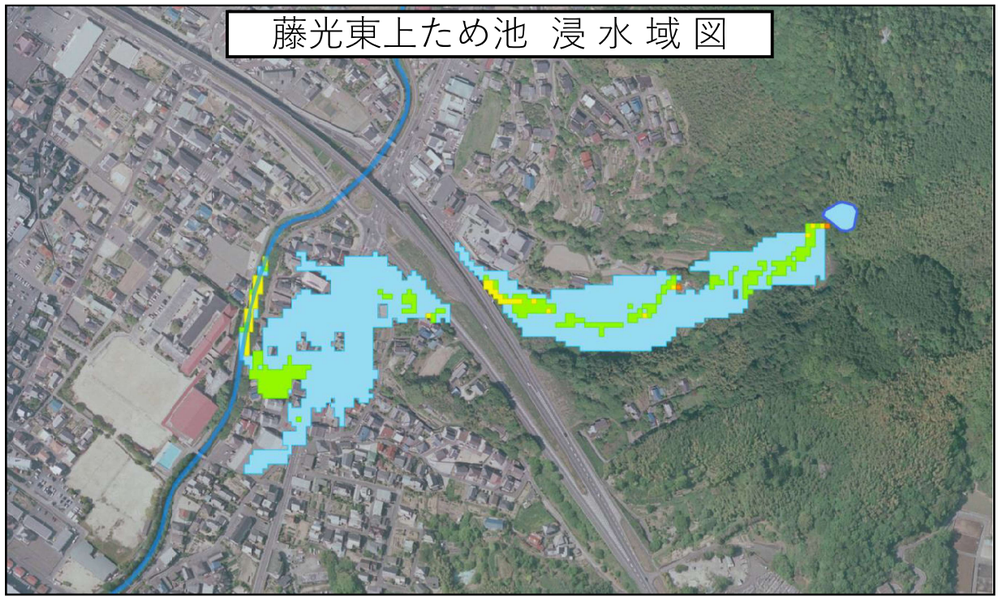
～災害の未然防止のために～

～このハザードマップは～

近年の集中豪雨により、ため池災害が発生しており、また災害に至らなくても非常に危険な状態になり、下流域の住民が避難を余儀なくされる事態が発生しています。

この様なことから、大雨によりため池が決壊するといった最悪の事態を想定し、決壊による浸水被害想定と避難対策等の情報をわかりやすく住民の皆さんに提供することを目的に作成したものです。

下松市



雨の具合で危険度をチェックしましょう

●危険を感じたらすぐに避難を！

やや強い雨
（1時間に10～20㎜）
地面からの跳ね返りで足下がぬれる。
雨の音で話がよく聞き取れない。

強い雨
（1時間に20～30㎜）
地面一面に水たまりができる。
側溝・下水・小さな川があふれ、小規模の崖くずれが始まる。

激しい雨
（1時間に30～50㎜）
バケツをひっくりかえしたようにふる。
山崩れ・崖崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。

非常に激しい雨
（1時間に50～80㎜）
滝のようにふる。
都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある。
土石流などの多くの災害が発生する。

猛烈な雨
（1時間に80㎜以上）
息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。
雨による大規模な災害の発生するおそれが強く厳重な警戒が必要。

避難の際の注意事項！！

●早めの避難を！

◆道路や地面が浸水する前に避難しましょう。
◆高齢の方・身体の不自由な方・子供等は、避難に時間がかかります。早めの避難を心がけましょう。
◆荷物は貴重品・食料・衣料・日用品など必要最小限のものにしましょう。

●避難は２人以上で！

◆裸足・長靴は危険です。ひもでしめられている運動靴で避難しましょう。
◆近所と声をかけ合って、家族やグループで行動しましょう。
◆避難は必ず歩いてしましょう。車やバイクでの移動は、流されたり転倒することもあり非常に危険です。
◆避難には、高い場所にある道路を選びましょう。

●足元に注意！

◆普段は見えていた水路・ます・段差などが、洪水のときは冠水して見えづらくなっています。十分に注意して移動しましょう。
◆水深がひざまであるようなら、無理をせず高所で救助を待ちましょう。
◆はぐれないように、お互いの体をロープで結んで避難しましょう。